

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2018年11月)

主な出来事

【内政】

- 19日、ウンベジ国民議会議長(PRD 党首)は2019年3月の国民議会議員選挙でタロン大統領支持の「共和ブロック」に加盟するとされていたが、最終的に合流しない旨発表した。

【外政】

- 8日、ノルウェー・アフリカ・ビジネス・サミットに招待されたタロン大統領は、ノルウェー企業に対しベナンへの投資を求めるスピーチをした。

【経済】

- 国家通信規制当局(ARCEP-BENIN)の発表によると、2017年末時点での携帯電話でのインターネット契約件数は460万961件で、前年の277万627件から66%増であった。その影響で、コトヌ市近辺ではインターネットカフェ店舗数は激減している。
- ジジャ(Djidja)市ジヌクイ(Djinoukouï)地区において、コメの脱穀工場の起工式が行われた。この工場はブラジル銀行による750億 CFA フランの投資で実施され工期は24か月である。当工場が稼働すれば884の直接雇用、数千の間接雇用が生まれ、年間19万トンのコメの処理が可能となる。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 5日、国民議会予算委員会は、2019年予算案についての聴講を開始した。各省毎・セクター毎に予算編成の協議が行われる。(5日、La Nation 紙)
- ・ 2019年3月に予定されている国民議会議員選挙に向けて、地域小政党を全国的大政党へと統合する動きが加速しており、大統領支持派は「共和ブロック」「進歩ブロック」の2つの政党グループ結成に向けて動いているが、各政治家は、それぞれのブロックに加盟する旨発表している。(Nation 紙他)
- ・ 19日、ウンベジ国民議会議長(PRD 党首)は2019年3月の国民議会議員選挙でタロン大統領支持の「共和ブロック」に加盟するとされていたが、最終的に合流しない旨発表した。(21日、L'Événement Précis 紙)

【外政】

- ・ 8日, ノルウェー・アフリカ・ビジネス・サミットに招待されたタロン大統領は, ノルウェー企業に対しベナンへの投資を求めるスピーチをした。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, ウンパティン保健大臣は, リトアニアへの公式訪問を終え帰国した。同大臣はリガでカスカ・リトアニア保健大臣と製薬産業の法律・規則の仕組みや, 市民への薬品の供給や偽薬対策等について意見交換を行った。(14日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 11日, アベノンシ外務・協力大臣は, パリで開催された第一次世界大戦100周年記念式典の機会を捉えて, 露のプーチン大統領と2国間関係について意見交換を行った。(14日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, タロン大統領はロメのニヤシンベ大統領を訪問し, ベナン及びトーゴへの電力供給のための電力の生産及び購入を任務とする両国機関であるベナン電力共同体(CEB)の効率化等両国のエネルギー政策について協議をした。(28日, La Nation 紙)
- ・ 29日, アタナソ外務・協力大臣代理はクルー(M. Alexander de CROO)ベルギー副首相兼協力・発展大臣とパイナップル産業を通じての企業家支援, コトヌ自治港の競争力強化, 女性支援中心を目的とした6, 000万ユーロに上る計画に特別協定に署名をした。(30日, La Nation 紙)
- ・ 30日, 外務・協力省において, 中国の支援により建設された同省食堂の引渡式が行われアベノンシ外務・協力大臣及び中国大使が出席した。(12月3日, La Nation 紙)

【治安】

- ・ 2日, 共和国警察は記者会見を開き, サイバー犯罪抑止事務局が容疑者9名を逮捕し, 偽造 Lepi(選挙投票用ID)カード300枚及び不正に取得されたSIMカード204枚を押収したと発表した。(5日, L' économiste 紙)
- ・ 6日, セメ・ボジ市内において, 中古車販売業者が中古車売場から帰宅途中, ライフルを所持した犯人2人組に銃で脚を撃たれ1, 700万CFAフランの入ったカバンを奪われた。犯人は逃走中である。
- ・ 13日, アボメ第一中学校において生徒1名が臨時雇用のスポーツ教師に腹部を複数回殴られた。生徒はアジャイト(Adjahito)保健センターに搬送された後ゴホ(Goho)にある県病院に移送されたが死亡した。警察は容疑者の教師を捜索している。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 14日及び15日, 共和国警察アボメカラビ署は犯罪者グループに対する捜査を行い, 相当量のマリファナ, インド大麻を押収した。
- ・ ボルグ県ンダリ(N' Dali)市において, 約3週間前から, ハエに似た正体不明の虫が発生しており, マンゴー農家に被害を与えている。その虫に刺されると患部が腫れ上がる由であり既に3名が被害に遭っている。発生元も不明である。(16日, L' économiste 紙)
- ・ 18日, パラクにおいて, 旧チャウル(Tchaourou)駅付近で, 患者を搬送中の救急車が交通事故をおこし, 5名が死亡, 複数名が重傷を負った。(19日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 21日、コトヌ市カスオート(Casse Auto)において、政府車両が操作を誤りミニバスと衝突し、ミニバスが横転した。死亡者はいなかったが複数名が重傷を負った。(22日、L' économiste 紙)
- ・ 23日、ザナナド(Zagnanado)市のペデポ(Kpédékpo)地区の橋において、ボイコン方面から来たセメントを積んだトラックがガードレールにぶつかる事故があった。その影響でトラックとバイク一台が橋の下に転落し、トラックに乗っていた運転手と子供が遺体で発見され、バイクに乗っていた3名の内2名が行方不明となった。(27日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 26日、9月26日に象牙14Kgの密輸の疑いでアツパバ、セメクラケ、ポルトノボで逮捕された容疑者3名の公判がコトヌ第一審裁判所にて行われ、禁固3か月、10万 CFA フランの罰金、100万フラン CFA を国家(水林局)への支払いが言い渡された。(27日、Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 2日、ベナンの新聞社である「L' économiste」紙は、中国の Afrindex グループと協定を結んだ。同グループは、中ベナンの貿易、中国企業、投資家向けのプラットフォームとなることを目的としている。(29日、L' économiste 紙)
- ・ 2日、ウィダ市ズングド小学校 C 校に、日本の支援により校舎1等3教室トイレ棟1棟、校長室、また、附属幼稚園校舎1棟2教室トイレ棟1棟、園長室、備品棟が供与された。(7日、Le Matinal 紙)
- ・ 国家通信規制当局(ARCEP-BENIN)の発表によると、2017年末時点での携帯電話でのインターネット契約件数は460万961件で、前年の277万627件から66%増であった。その影響で、コトヌ市近辺ではインターネットカフェ店舗数は激減している。(6日、L' économiste 紙)
- ・ 15日、Fondation IFEの代表を務めるゾマホン(M. Rufin ZOMAHOUN)元在京大使では、ダッサズメ市のベテクク小学校において、電気導入の起工式を行った。当該計画は2億CFAフランの規模であり、教室に電気を通すことで児童達が授業後も学習可能にすることを目的としている。同計画は他の複数小学校も対象となっている。IFE のパートナーとして Kens Cono の川口氏も協力している。(19日、La Nation 紙)
- ・ ベナンの有機綿花市場に関する報告書によると、1ヘクタールあたりの有機綿花収穫量は226キロで、西アフリカで最高水準であることが分かった。(21日、L' économiste 紙)
- ・ 22日、韓国は、ベナン外務・協力省に対してミニバス2台、SUV2台の計4台の自動車の引渡式を行った。(23日、La Nation 紙)
- ・ 24日、ジジャ(Djidja)市ジヌクイ(Djinoukouï)地区において、コメの脱穀工場の起工式が行われた。この工場はブラジル銀行による750億 CFA フランの投資で実施され工期は24か月である。当工場が稼働すれば884の直接雇用、数千の間接雇用が生まれ、年間19万トンのコメの処理が可能となる。(27日、La Nation 紙)
- ・ 27日、ベナン投資・輸出促進事務局(APIEX)は、中国の漁業に関する備品の専門企業

である Zhanjiang fishnet(湛江漁網有限公司)と合意書に署名をした。同企業は、西アフリカでの漁業関連設備・道具市場を狙い、2,000万米ドルを投資し工場を建設する予定である。直接雇用で500人、下請けで200人程の雇用創出が見込まれている。(28日, économiste 紙)

- ・ 西アフリカ通貨同盟(UMOA)銀行委員会の報告書によると、2017年末時点、ベナンには銀行が15行存在し、銀行口座所有者数は計約131万人であった。ベナンには国際銀行10行、地域銀行5行が存在し、代理窓口201, ATM は313存在する。(29日, L' économiste 紙)

【文化・その他】

- ・ 10月26日～28日にかけて、ナイジェリアのラゴスで国際空手選手権「Zeinab Saley オープン」が開催され、ベナンからは9人が参加し、金3, 銀3, 銅7の計13のメダルを獲得した。(2日, La Nation 紙)
- ・ 17日、パリで開催された空手フランス杯で、女子55kg級、元アフリカチャンピオンのガネイロ(Mme Océane Ganeiro)選手は銅メダルを獲得した。(21日, La Nation 紙)
- ・ 19日～12月7日にかけて、駐ベナン日本国大使館で、東北の風土を撮影した写真展が開催されている。(26日, L' Evénement Précis 紙)